

26 仕事の話

場面：インタビュー

状況：男性インタビュアーが、女性（藤井恵子さん）が仕事として地域で行ってきた活動についてインタビューする

登場人物：A（男性、インタビュアー） B（女性、地域活動家（藤井恵子））

A：今日は、藤井恵子さんにお話をうかがいます。藤井さん、よろしくお願ひいたします。まず、自己紹介をお願ひできますか？

B：あ、はい、私はみかづき市で、図書館を中心にした地域活動を企画・運営しています。

A：地域活動…具体的にどんなことをしているんですか？

B：そうですね、最近には主に、この町に住んでいる外国人の方々に向けたイベントをしています。

A：外国人向けのイベントですか。どんなことをするんですか？

B：あーたとえば、日本語を勉強している方におすすめの日本語の本を紹介したり、週末には外国人と日本人が一緒に集まって交流するイベントなどを行っています。

A：ああ、いいですね。

B：はい。あーこの町には外国の方がたくさんいるので、

A：はい。

B：子どもから大人まで、色々な方が集まって楽しいですよ。

A：へえ。

B：最初は皆さん緊張していましたが、だんだん「毎月、このイベントに参加するのが楽しみだ」と言ってくれたり、「図書館がとても大切な場所になった」と言ってくれる人が増えてきました。

A：あ、どうしてこの活動を始めようと思ったんですか？

B：ああ、私は、10年前まで東京で働いていました。その時、外国の方たちと一緒に働いていたんですが、やっぱり日本での生活は言葉も違うし、文化も違うし、大変そうな人が多かったです。

A：うーん。

B：それで、外国人が安心して、少しずつ日本での生活に慣れる場所を作りたい、って思ったんです。それで、皆さんに身近な図書館を通じて、この活動を始めました。

A：素敵なきっかけですね。この活動はどのくらい続けていらっしゃるんですか？

B：ああ、もう8年ほどになります。おかげさまで、今はスタッフも増えて仕事もしやすくなりました。

A：最後に、このインタビューを聞いている方にメッセージをお願いします。

B：はい、えー自分の近くの人のことをよくみると、その人や、その町に必要なことが見えてきます。あ、もし、誰かのために何かをしたいと思ったら、自分にできる小さなことから始めてみてください。